

HazardFilter

Technical Guide

一時解除について

目次

1. はじめに.....	3
2. 設定方法.....	4
3. FAQ.....	7
規制として登録されている URL を一時解除できるようにしたい.....	7
掲示板サイトを一時解除で運用し、書き込み規制をする場合の設定方法.....	8
クライアントごと、カテゴリごとの一時解除について.....	9
4. トラブルシュート.....	11
一時解除後に戻るボタンで文字化けする.....	11
複数台構成で規制画面が正しく表示されない.....	11
5. ログ.....	15
http. log の転送状態の出力内容.....	15

1. はじめに

一時解除とは、ブラウザから規制対象のサイトにアクセスしたとき、一旦、規制画面を表示してから、一定時間だけ閲覧ができるようにする HazardFilter の機能です。

この機能を使用するとによって、利用者にフィルタリングさせていることを意識しながら、目的のサイトへのアクセスは可能といった運用が可能になります。

本資料では、この一時解除の具体的な設定方法や、利用時の注意事項などをまとめています。

<一時解除の動作>

規制対象のサイトにアクセスすると、一旦規制画面が表示されます。



「一時的に解除」ボタンをクリックすると、サイトが表示されます。



2. 設定方法

■ 設定の基本

一時解除は[共通アクセス管理]-[規制画面設定]の[規制画面形式]で、ファイルを指定したとだけ、有効になります。

The screenshot shows the navigation menu on the left with '規制画面設定' (Regulation Screen Settings) highlighted in red. The main content area shows the '規制画面設定' (Regulation Screen Settings) page. Under the '規制画面形式' (Regulation Screen Format) section, the 'ファイル' (File) option is selected with a radio button, and the text 'nfblock.htm' is entered in the adjacent field. Other options like 'URL' and 'メッセージ' are also visible but not selected.

■ カテゴリごと

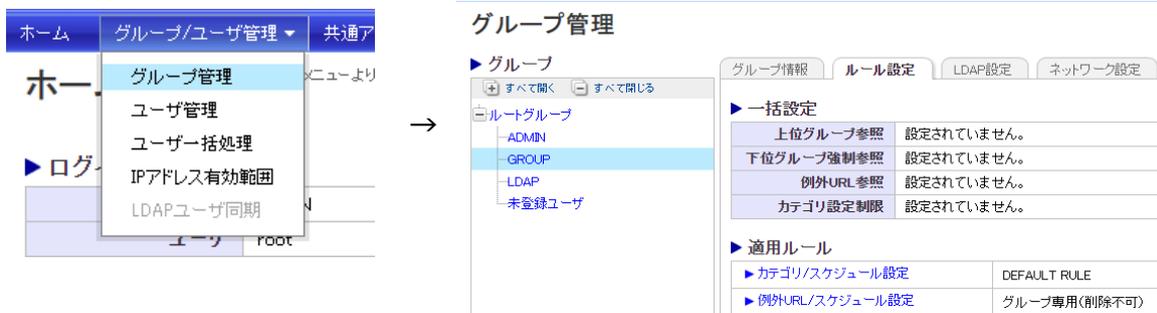
カテゴリごとに一時解除を有効にするには、[個別アクセス管理]-[カテゴリ設定]でカテゴリルールを設定します。

The screenshot shows the 'カテゴリ設定編集' (Category Settings Edit) page. At the top, there's a header with 'カテゴリごとにアクセス許可/規制を設定します。' (Set access permission/regulation for each category). Below that, there's a table with columns: 'カテゴリ > サブカテゴリ' (Category > Subcategory), '編集前の設定' (Settings before editing), '動作' (Action), and '一時解除方法' (Temporary Release Method). The table lists several user settings (ユーザ設定1 through ユーザ設定7) with various icons indicating their status and actions.

カテゴリ > サブカテゴリ	編集前の設定	動作	一時解除方法
ユーザ設定	(サブカテゴリ単位で設定)	許可 / 書き込み規制 / 規制	一時解除不可 / 一時解除可能(パスワードあり) / 一時解除可能(パスワードなし)
ユーザ設定1	一時解除不可 / 一時解除可能(パスワードあり)	許可 / 書き込み規制 / 規制	一時解除不可 / 一時解除可能(パスワードあり) / 一時解除可能(パスワードなし)
ユーザ設定2	一時解除不可 / 一時解除可能(パスワードあり)	許可 / 書き込み規制 / 規制	一時解除不可 / 一時解除可能(パスワードあり) / 一時解除可能(パスワードなし)
ユーザ設定3	一時解除不可 / 一時解除可能(パスワードあり)	許可 / 書き込み規制 / 規制	一時解除不可 / 一時解除可能(パスワードあり) / 一時解除可能(パスワードなし)
ユーザ設定4	一時解除不可 / 一時解除可能(パスワードあり)	許可 / 書き込み規制 / 規制	一時解除不可 / 一時解除可能(パスワードあり) / 一時解除可能(パスワードなし)
ユーザ設定5	一時解除不可 / 一時解除可能(パスワードあり)	許可 / 書き込み規制 / 規制	一時解除不可 / 一時解除可能(パスワードあり) / 一時解除可能(パスワードなし)
ユーザ設定6	一時解除不可 / 一時解除可能(パスワードあり)	許可 / 書き込み規制 / 規制	一時解除不可 / 一時解除可能(パスワードあり) / 一時解除可能(パスワードなし)
ユーザ設定7	一時解除不可 / 一時解除可能(パスワードあり)	許可 / 書き込み規制 / 規制	一時解除不可 / 一時解除可能(パスワードあり) / 一時解除可能(パスワードなし)

■ グループ

グループに対して、カテゴリルールを適用する場合、[グループ/ユーザ管理]-[グループ管理]-[ルール設定]タブを表示します。



1. [適用ルール]-[カテゴリ/スケジュール設定]をクリックします。[カテゴリ/スケジュール設定]が表示されます。



2. [ルール選択]ボタンをクリックします。[適用ルール選択]が表示されます。

選択されたグループに[下位グループ強制参照]または[上位グループ参照]が設定されている場合は、適用ルールを変更できません。



3. 適用ルールを選択します。

適用ルール選択 グループ/ユーザに適用するルールを選択します。

選択中のグループ: ADMIN Qグループ階層を表示

[適用]

個別にカテゴリルールを適用する (単一のカテゴリ設定を常時使用する)

所有グループ: ルートグループ
ルール名: DEFAULT RULE [確認]

個別にスケジュールルールを適用する (複数のカテゴリ設定を時間帯毎に切り替える)

選択可能なルールが1件もありません。

・個別にカテゴリルールを適用する。

個別にカテゴリルールを適用する場合に選択します。選択すると、カテゴリルールを所有しているグループ名とルールを選択することができます。[確認]ボタンをクリックすると、選択したカテゴリルールの詳細が画面の下部に表示されます。

・個別にスケジュールルールを適用する

個別にスケジュールルールを適用する場合に選択します。

4. [適用]ボタンをクリックします。確認のダイアログが表示されます。[OK]ボタンをクリックします。

一時解除の解除時間、パスワード設定は、[グループ/ユーザ管理]-[ユーザ管理]から任意のアカウントを選んで、[ルール設定]タブを表示します。



1. [適用ルール]-[カテゴリ/スケジュール設定]をクリックします。[カテゴリ/スケジュール設定]が表示されます。

2. [ルール選択]ボタンをクリックします。[適用ルール選択]が表示されます。

3. 適用ルールを選択します。

所属グループと同じルールを使用する (ルートグループ > DEFAULT RULE)

個別にカテゴリルールを適用する (単一のカテゴリ設定を常時使用する)

所有グループ: ルートグループ
ルール名: DEFAULT RULE [確認]

個別にスケジュールルールを適用する (複数のカテゴリ設定を時間帯毎に切り替える)

選択可能なルールが1件もありません。

所属グループと同じルールを使用する

所属しているグループと同じルールを適用する場合に選択します。

個別にカテゴリルールを適用する

個別にカテゴリルールを適用する場合に選択します。

個別にスケジュールルールを適用する

個別にスケジュールルールを適用する場合に選択します。選択すると、スケジュールルールを所有しているグループ名とルールを選択することができます。[確認]ボタンをクリックすると、選択したスケジュールルールの詳細が画面の下部に表示されます。

スケジュールの設定内容の詳細については、管理者マニュアル「スケジュールの設定」を参照してください。

4. [適用]ボタンをクリックします。確認のダイアログが表示されます。[OK]ボタンをクリックします。

ユーザへの一時解除の解除時間、パスワード設定は、グループ/ユーザ管理 グループ管理 規制オプション設定の値に準じます。

個別に設定する場合は、[個別アクセス管理]-[規制オプション設定]で規制オプションルールを設定します。詳しくは管理者マニュアル「規制オプションの設定」を参照してください。

優先カテゴリに一時解除を有効するには、[個別アクセス管理]-[優先カテゴリ設定]で優先カテゴリルールを設定します。

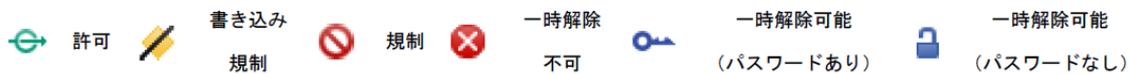
詳しくは管理者マニュアル「優先カテゴリの設定」を参照してください。

一時解除の規制画面例

The screenshot shows a web page titled "HazardFilter" with a message: "このウェブサイトは現在管理者によって規制されています。" (This website is currently restricted by the administrator). Below the message, there are two input fields: "あなたがリクエストしたURL" (URL you requested) with the value "https://login.yahoo.co.jp" and "規制理由(書き込み規制)" (Restriction reason (posting restriction)). At the bottom, there is a link "▶ 規制を一時的に解除します。" (▶ Temporarily lift the restriction.) and a form with a "パスワード" (Password) input field and a "一時的に解除" (Temporarily lift) button.

※一時解除パスワードを設定していない場合は、規制画面のパスワードボックスは表示されません。

■ 設定凡例



カテゴリ > サブカテゴリ	動作
[-] ユーザ設定	(サブカテゴリ単位で設定)
ユーザ設定1	 
ユーザ設定2	 

上記の例では、ユーザ設定1が一時解除（パスワードなし）、ユーザ設定2が一時解除（パスワードあり）の設定になります。

3. FAQ

規制として登録されている URL を一時解除できるようにしたい

【 質問 】

カテゴリ/スケジュール設定にて「ビジネス・経済 > 転職・就職」を規制に設定しています。その中の特定サイトは一時解除できるように設定を行いましたが、規制※になってしまいます。対処方法を教えてください。

設定した内容

1. カテゴリ/スケジュール設定にて、「ビジネス・経済 > 転職・就職」を規制に設定

ルール情報	カテゴリ設定	▶ ルール詳細
[-] ビジネス・経済		(サブカテゴリ単位で設定)
転職・就職		 

2. 一時解除したい特定サイトを例外 URL としてユーザ設定カテゴリに登録し、一時解除に設定

登録形式	<input type="text" value="通常URL"/> <small>※ 登録完了後に登録形式を変更することはできません。</small>
* URL	<input type="text" value="http://www.netstar-inc.com/recruit/"/> <small>※ IPv6アドレス登録時は「:」で囲んでください。 ※ IPv6アドレスは省略形式で登録されます。</small>
カテゴリ	<input type="text" value="ユーザ設定"/> > <input type="text" value="ユーザ設定1"/>
有効期間	<input checked="" type="radio"/> 有効期間を設定しない <input type="radio"/> 有効期間を設定する 開始日: <input type="text"/> <input type="text"/> - 終了日: <input type="text"/> <input type="text"/>
コメント	<input type="text"/>

カテゴリ > サブカテゴリ	動作
[-] ユーザ設定	(サブカテゴリ単位で設定)
ユーザ設定1	 

【 回答 】

カテゴリ/スケジュール設定で規制したカテゴリに登録されている URL を、一時解除に設定したユーザ設定カテゴリに例外 URL として登録しても、一時解除ができません。登録されているカテゴリが優先され、規制になります。

このような場合には、設定ファイル (proxy.inf) に、「FORCD_OVERRIDE」キーを追記することで、一時解除ができるようになります。「FORCE_OVERRIDE」キー追加後にフィルタリングサービスの再起動が必要です。

Proxy.inf の設定

[BLOCK_CFG]

FORCE_OVERRIDE=TRUE

規制オプション「書き込み規制」を組み合わせ利用しても、一時解除後の書き込みは規制されません。その他、「マルチパートリクエスト規制」、「書き込みキーワード規制」の規制オプションについては、一時解除時間中は規制の対象にはなりません。

掲示板サイトを一時解除で運用し、書き込み規制をする場合の設定方法

【 質問 】

掲示板サイトを一時解除にして、書き込み規制をする場合の設定方法について、教えてください。

【 回答 】

対象となるカテゴリに一時解除（オーバーライド）を設定し、グループの規制オプションの「書き込み規制」を有効にすることで、一時解除（オーバーライド）後の書き込み規制が可能です。

例)

カテゴリ/スケジュール設定で一時解除設定を行います。

☐ コミュニケーション			
SNS・ミニブログ			
掲示板・チャット			

グループ管理の規制オプション設定にて、一括書き込み規制を一時解除不可に設定します。

▶ 動作設定

IPアドレス規制	無効
一括書き込み規制	有効 一時解除不可
一括一時解除	無効
マルチパートリクエスト規制	無効

※注意

- ・規制オプションの書き込み規制を有効にすると、全てのカテゴリ（許可カテゴリを除く）で書き込み規制が行われるようになりますので、ご注意ください。
- ・以下の設定が適用されている場合、一時解除後、規制オプションの「書き込み規制」は適用されません。

Proxy. inf

[BLOCK_CFG]セクション

FORCED_OVERRIDE=TRUE

※本設定の役割については、添付 URL「規制として登録されている URL を一時解除（オーバーライド）できるようにしたい」をご参照ください。

クライアントごと、カテゴリごとの一時解除について

【 質問 】

一時解除（オーバーライド）ボタンを押して、設定時間内に、同じグループの他の PC から一時解除（オーバーライド）設定した URL にアクセスした場合、閲覧できますか？規制されますか？

また、一時解除（オーバーライド）ボタンを一度押すと、設定時間内は一時解除（オーバーライド）設定している他のカテゴリのサイトにもアクセス可能となりますが、カテゴリ単位で一時解除（オーバーライド）規制画面を表示させることはできませんか？

【 回答 】

一時解除は、クライアントごとに行われます。IP アドレスもしくはアカウントごとに一時解除時間が設定されますので、ある PC で一時解除が行われた後、一時解除時間内に同じグループの別の PC からアクセスがあった場合でも、その PC に対し規制画面を表示します。

カテゴリごとに一時解除を使用するには設定が必要です。

管理画面では設定ができないため、設定ファイルを変更します。

■設定方法

proxy.inf

[BLOCK_CFG]

ENABLE_CATEGORY_OVERRIDE=FALSE（初期値）

上記キーの値を TRUE に変更し、フィルタリングサービスを再起動します。

FALSE：一時解除を実行すると一時解除時間中は、一時解除を設定している他のカテゴリのサイトへアクセスした際、規制画面は表示されません。

TRUE：カテゴリごとに一時解除時間が設けられるため、一時解除を実行した後、一時解除を設定している他のカテゴリのサイトへアクセスした場合でも規制画面（一時解除ボタン付き）が表示されます。

4. トラブルシュート

一時解除後に戻るボタンで文字化けする

一時解除で一定時間規制サイトを閲覧後、ブラウザの戻るボタンで元のサイトに戻ると、「文字化けが発生する」、「ページエラーと表示されブラウザがフリーズする」などの現象が発生することがあります。

一時解除で規制サイトを表示後に、戻るボタンをクリックすると、ブラウザの履歴機能で保持している一時解除ボタン付きの規制画面が表示されます。

このとき文字コードは規制画面の文字コード「UTF8」になります。

その後、別のページを履歴機能で表示した場合に、文字コードが異なると文字化けが発生します。

このような現象が発生した場合は、Microsoft Edge は、[更新]ボタン、FireFox は、[このページを再読み込みします]ボタン、Safari は、[現在のページを再読み込みします]ボタンをクリックすることでウェブページが最新の状態に変更されます。

複数台構成で規制画面が正しく表示されない

複数台の HazardFilter を稼働させて、ラウンドロビンによる負荷分散を行っています。規制画面の表示が崩れたようになり、正しく表示されないことがありますが、これはなぜですか。

HazardFilter にてパス内 URL も規制できる機能がありますが、このことが規制画面の崩れに関連していません。

【例】

HazardFilter1 (NetSHAKER1)、HazardFilter2 (NetSHAKER2) でラウンドロビンしている場合

・ オーバーライド規制画面のリクエスト

<https://<HazardFilter2のIP>:8080/override.cgi?urldata=http://<規制URL>~>

・ https の規制画面

<https://<HazardFilter2のIP>:8080/block.cgi?urldata=http://<規制URL>~>

規制画面表示時に上記のようなリクエストを送信しますが、クライアントから HazardFilter1 に対して送信した場合、HazardFilter2 が許可対象 URL でなければ、override.cgi block.cgi 以降の urldata= の部分がパス内 URL の規制対象となり、規制画面が規制されるという現象が発生します。

【回避策】

このような現象を避けるため、負荷分散環境では、お互いの HazardFilter ホスト名もしくは IP アドレスを [例外 URL] の [許可カテゴリ] に登録します。

5. ログ

http.log の転送状態の出力内容

【 質問 】

http.log で出力される Proxied、Allowed などの転送状態のログ出力ステータスの意味を教えてください。

【 回答 】

http.log で出力される転送状態のログ出力ステータスの意味は、以下の通りになります。

Proxied: 上位へ転送したリクエスト (規制対象として登録されていないか、許可カテゴリに含まれているデータ)

Confirm: 規制されたリクエスト (一時解除可能)

Blocked: 規制されたリクエスト (ポリシーで許可されていないか、IP 規制、データベース更新中の場合)

Allowed: 許可されたリクエスト (規制カテゴリに登録されているがポリシーで許可されたデータ)

Release: 一時解除されたリクエスト (ポリシーで許可されていないが一時解除機能によって転送したデータ)

CfmPost: 書き込み規制されたリクエスト (一時解除可能)

BlkPost: 書き込み規制されたリクエスト

[HazardFilter] 一時解除について

2022年4月初版
発行 株式会社YE DIGITAL

※ 記載されている会社名および商品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載、あるいは複製することを禁じます。
- 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一記載に誤りや不完全な点がありましたらご容赦ください。